



れんごうさが

No.200

2025年3月

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

RENGO SAGA

発行 日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人 松尾和寿 編集者 矢ヶ部教馬

〒840-0804 佐賀市神野東4-7-3 TEL0952-33-3705 FAX0952-33-2805

第65回(臨時)地方委員会開催



△連合佐賀 草場会長あいさつ

連合佐賀は2月1日(土)、自治労会館において「第65回(臨時)地方委員会」を開催し、連合佐賀2025春季生活闘争方針を満場一致で決定しました。

開会にあたり草場会長は、『2025春闘は1月22日の「連合と経団連のトップ会談」で事実上スタートした。昨年の24春闘では、定昇・ベアを合わせた平均賃上げが33年ぶりに5%を超えたが、組合員数300人未満の賃上げ率は4.45%と5%には届かず格差が拡大する結果となった。また、人手不足が急速に進行し、その結果、若い人たちを中心に処遇の良い企業へと転職する傾向が定着しつつある。そのため、若年層の人財獲得競争が激しくなり、賃上げが実現してもその分配に偏りが見られ、勤続年数を重ねても賃金の上昇は期待できず、悲観する中堅以上の労働者の声が寄せられている。2月4日に開催される「政労使会議」には、佐賀県をはじめとする各行政、使用者団体、連合佐賀が参画する。このような現状と様々な課題を提起し、春闘の一連の動きとして世論喚起を行い、機運の醸成へとつなげていきたい。さて、第47回参議院通常選挙について、念願の佐賀県選挙区の候補者擁立が整い、連合佐賀は富永あけみさんを推薦決定した。富永あけみさんは、現佐賀市議2期目であり自治労の組合員である。今回の擁立にあたってはご本人とご家族はもとより、自治労組織のご尽力によるものであり、組織決定に至るまで様々なプロセスを慎重に重ねてこられた成果に尽きる。ここに連合佐賀、並びに構成組織を代表し、心より感謝を申し上げる。1990年2月4日に結成

された連合佐賀は、間もなく節目となる35年の歴史を刻むが、実は組合員が国政選挙へ挑むのは初めてのこと。この節目の年に、「勝利」という二文字で、「新たな歴史を刻み込む」という固い決意を込めて、一気呵成に運動を展開する。連合佐賀の旗のもと31,000名の組合員が結集をし、佐賀県選挙区は「富永あけみ」予定候補を、比例代表は産別組織内公認または推薦候補者の必勝に向けて組織一丸となって戦っていく。最後に、本臨時地方委員会において、みんなで審議をし、みんなで方針決定をし、みんなで運動を展開することを確認しあい、各構成組織の労使交渉への弾みと世論喚起を、そして、参議院議員選挙必勝に向けて、機運を高めて行きたい』と代表挨拶を行いました。

議案審議では、2025春季生活闘争方針を満場一致で決定するとともに、退任役員4名の表彰を確認し、特別決議と地方委員会アピールを採択し閉会しました。



△【議長団】水田大樹地方委員(自動車総連)、山口秀彦地方委員(基幹労連)





2025年 連合佐賀・佐賀県労福協共催 新年賀詞交歓会開催

1月9日(木)、マリターレ創世にて、連合佐賀と佐賀県労福協は、労働団体・労働福祉事業団体としての社会的責務を自覚して、勤労者の生活・福祉の向上を目指し、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現への決意を込めて、共催での新年賀詞交歓会を開催しました。

「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現する 日出生台集会

1月25日(土)、大分県玖珠町玖珠川河川敷にて、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現する日出生台集会が開催され、各地協と連合佐賀から37名で参加しました。

連合は、「①在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直し、②核兵器廃絶と被爆者支援、③北方領土返還と日ロ平和条約の締結」にむけた平和運動の取り組みを推進してきた。このことを受けて、連合九州ブロック連絡会と連合大分は、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」の実現にむけて、1999年より「米軍による日出生台実弾射撃訓練」の実施状況を踏まえた上で、集会、シンポジウムを開催してきました。

基調講演として防衛ジャーナリストの半田滋氏から日米地位協定の抜本的見直しに向けた現状と今後の課題など提起頂きました。その後、連合九州ブロック連絡会の吉村事務局長から具体的な3つの行動について方針の提起が行われました。



△連合本部 清水事務局長

①九州防衛局への要請

(射撃訓練に関する協定や
確認事項の遵守を求める)

2025年1月21日に連合大分と
ともに九州防衛局へ要請・意見
交換を実施済み。

②政府への働きかけ

(沖縄県に集中する全国の
米軍基地負担(約70%)の軽減を図る。)
連合本部と連携しながら、
政府への訴えを強化。

③日米地位協定の抜本改正への取り組み

米軍・米兵による事件や事故で不安を
抱える生活者の安心の確保を目指す。
世論喚起活動を展開し、改正実現を
加速させる。

2025春季生活闘争の取り組み

九州一周キャラバン



連合九州ブロックは毎年、九州一周キャラバン行動を展開しており、九州・沖縄において世論喚起を展開しています。毎年各県リレー方式でキャラバンカーを走らせていますが、今年は佐賀からの出発となり、2月3日(月)に佐賀駅南交番交差点付近にて出発式を行いました。

自治体要請キャラバン行動

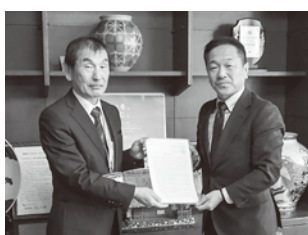
[日 時] 2025年2月10日(月)～21日(金)

[場 所] 10市10町、6ハローワーク、4労働基準監督署

[対 応 者] 連合佐賀四役、地協四役、連合議員懇、自治労単組役員

[行動の概要] 春季生活闘争前段取り組みの一環として毎年実施している「自治体要請キャラバン行動」を標記の通り実施しました。行動には、連合佐賀四役・各地協役員・連合議員懇、自治労単組役員が参加し、各自治体をはじめ各ハローワークならびに各労働基準監督署に以下の内容について、要請行動を展開しました。

意見交換内容	要 請 内 容
市・町 ①労務費を含む価格転嫁に向けた取り組みについて ②消費者の視点に立った消費者政策の推進など	①労務費を含む価格転嫁に向けた取り組み ②デジタル社会インフラの整備促進と地域活性化による雇用増大および中小企業への支援 ③安心・安全な住まいと持続可能なまちづくりの推進 ④持続可能で安心・安全な社会資本整備の推進 ⑤消費者の視点に立った消費者政策の推進 ⑥生活困窮者自立支援体制の確立と子どもの貧困対策、生活保護の運営体制の改善・充実 ⑦子ども・子育て支援新制度の着実な実施と保育職場の環境改善
労働基準監督署 ①労働者の安全・健康対策について ②ハラスメント対策について	①法令違反・労働相談への対応 ②あらゆるハラスメント対策の取り組み ③すべての労働者の安全・健康対策 ④すべての労働者に対する職業能力開発機会の充実
公共職業安定所(ハローワーク) ①契約後のトラブル未然防止に向けた取り組みについて ②求人者の傾向や採用後の相談状況や人手不足の実態と対応について	①生活困窮者自立支援制度の充実に向けて ②相談態勢の充実・強化 ③契約後のトラブル防止に向けて ④高齢者の就労促進について ⑤障がい者の雇用の促進と雇用の安定に向けて



△嬉野市
永江部長へ草場会長より手交



△佐賀市
池田副市長へ小川副会長より手交



△ハローワーク鳥栖
江湖所長へ井上会長代行より手交



△唐津労基署
宅島署長へ鳥巢副会長より手交

2025春闘 中小民間労組交流集会

[開催日時] 2025年2月15日(土)14時00分～17時30分

[開催場所] 四季彩ホテル千代田館

[出席者数] 14産別、2地協、地域ユニオン、フェアワークセンター幹事、連合佐賀執行委員会、事務局 計82名

[内 容] 連合佐賀フェアワークセンターは2025春季生活闘争の取り組みとして中小民間労組交流集会を開催しました。まず、フェアワークセンターの吉田委員長が主催者を代表して「2025春季生活闘争は、



物価高を上回る賃上げを実現させ、生活向上を実感できる実質賃金の上昇を勝ち取っていく必要がある。日本経済を賃金と物価の好循環の巡航軌道に乗せていき、賃上げがあたりまえの社会となっていく年としなければならない。中堅中小の労組はいまから要求項目を議論策定し、本格的な交渉となっていく。今集会での講演を単組の交渉に生かしていただきたい。」と挨拶しました。

講演①として『中小企業等の取引適正化に向けた取り組み』と題して、公正取引委員会事務総局の亀井明紀課長から講演を頂きました。亀井様からは企業取引研究会での議論を踏まえ、「交渉することなく価格を据え置かれたり、一方的にコスト上昇に見合わない価格を決められたりして受注側がしわ寄せを受けているのが現状となっており、サプライチェーン全体で見直しをしていく必要がある。また支払い方法などについても約束手形の廃止なども検討し、資金繰りが困難となりやすい中小零細企業に対しても支援が必要になってくる。優位的地位の乱用の考え方にも当てはめ、公正取引委員会としてガイドラインなど検討していく事が必要である。労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針も公正取引委員会から出しているので参考にしていきたい。」と講演されました。

講演②として『佐賀県の商工労働行政について』と題して、佐賀県産業労働部の井手部長より講演を頂きました。佐賀県の取り組みとして令和5年度からの賃金UPプロジェクトの実施内容と支援してきた実績を報告されました。また2024年問題にも対策を進めたいとの考えのもと、物流業者への支援も行ってきたことも合わせて報告されました。今後の取り組みとしてNEXT賃金UPプロジェクトとして、中小企業向けの支援の拡充や設備投資に踏み切れない事業者を後押しする観点から、国の業務改善助成金に上乘せすることで企業の自己負担を軽減する取り組みも報告されました。さらには県内企業の人材確保・定着を後押しする取り組みとして奨学金返済支援や佐賀県で働く外国人を支援する内容など多岐にわたる内容を報告いただきました。講演①、講演②ともに参加者から質問をいただき、有意義な講演となりました。

講演③は連合2025春季生活闘争の意義として、今年の春闘の取り組み方針や現在の労働者の実態などを説明し、今年の闘争で昨年を上回る賃上げを実現し分厚い中間層を復活させ、新たなステージを作っていく事が必要と講演を行いました。また、集团的労使関係の強化・構築と組織拡大の取り組みも構成組織へ要請を行い講演③を終了しました。

集会後は懇親交流会を開催し、参加者相互での意見交換を行い交流集会を閉会しました。



「連合アクション」街宣行動

【日時】 2025年2月27日(木) 18時00分～19時00分

【場所】 佐賀駅南交番交差点付近・佐賀駅北口・南口付近

【参加人数】 各構成組織・青年委員会・女性委員会・事務局 約20名



2025春季生活闘争の機運醸成に向けた全国統一の取り組みとして開催しました。

各構成組織・青年、女性委員会の協力のもと佐賀駅南交番交差点付近で街宣行動ならびにチラシ配布を行いました。

街宣行動では連合としての考えや2025春季生活闘争に全力で取り組んでいる仲間の声を代弁し世論喚起を行いました。街宣では青年委員会や女性委員会の協力のもと

『昨年の闘争では、33年ぶり高い賃上げが実現した。しかしながら、生活用品などの値上げが続く物価高の影響で、実質賃金は下がり家計の負担が増えている。2025春季生活闘争では、昨年以上の賃上げを求めている。私たち労働組合が先頭に立って企業に対して要求し、交渉を行い、成果を出すことで、労働組合のない職場を含むすべての働く仲間の賃上げを広げていく』さらには『連合は、適正な価格で公正な取引の実現に向けて取り組みを進めていくこと。また、労務費を含めた価格転嫁を行い賃上げに向けた動きを進めていき、賃金と物価の好循環を実現していこう』などを訴えて広く世論喚起を行いました。



また連合の各地区に配付されている春季生活闘争街宣用のベアスポンジと賃上げに向けた価格転嫁の必要性のチラシ(ティッシュペーパー)を佐賀駅南交番交差点付近と佐賀駅周辺で配布しました。構成組織ならびに青年・女性委員会のご協力に感謝いたします。



△構成組織・青年委員会・女性委員会街宣行動模様

2025春季生活闘争 3.1佐賀県中央総決起集会



△草場会長挨拶

連合佐賀は3月1日(土)10時より2025春季生活闘争3.1佐賀県中央総決起集会をアバンセホールにて開催しました。当日は多くの組合員の皆さんに参加いただきました。

冒頭、草場会長より『2025春闘は、確実に賃上げを実現してきたこの流れを「確固」たるものにし、新たなステージをつくらなければなりません。春闘の山場は3月中旬となります。今次春闘で掲げている、「賃金も物価も経済も安定させ、巡行軌道に乗せるために」、先行する組織のいい流れを佐賀県内の中小地場企業へ波及させることが連合佐賀の最大の使命となります。連合佐賀と構成組織が一致結束をし、最後まで粘り強く運動を展開していきましょう。「2025春闘勝利」「参議院議員選挙必勝」に向け、最後の最後まで共に頑張りましょう。』と力強く挨拶が行われました。その後、来賓挨拶が行われたのち、松尾事務局長より連合佐賀の取り組みとして情勢報告を行いました。次に青年委員会の猪古青年委員長の集会アピール採択が提案され拍手にて承認され、次に第27回参議院議員選挙候補予定者の富永あけみ氏から、参議院議員選挙に向けての決意と支援への協力をお願いを含め挨拶を頂きました。

最後に井上会長代行の力強い団結ガンバロー三唱で集会を終了しました。

また今年、アバンセホールでの開催となった事から、天神橋交差点～与賀町交差点付近まで社会的アピールも含め春闘の機運醸成を行うためパレードを実施しました。参加いただいた構成組織ならびにスタッフとして設営に協力いただいた青年・女性委員会の幹事の皆様ありがとうございました。



△富永あけみ氏挨拶



△猪古青年委員長
アピール採択



△井上会長代行による
ガンバロー三唱



△参加者によるパレード風景

連合佐賀議員懇談会「第28回定期総会」



連合佐賀議員懇談会は、2月14日(金)四季彩ホテル千代田館において「第28回定期総会」を開催し、2024年度活動経過報告および2025年度活動方針ならびに新役員など、全5議案について満場一致で確認し、承認されました。役員には徳光清孝会長(県議)ほか11名の再任が確認されました。その後、県政報告とレセプションを行い、閉会しました。

佐賀県内メーカー開催日程

地協	地域/地区	日時	場所
東部	鳥栖・三養基	4月27日(日) 10時00分	基山町民会館
	佐賀県中央、佐賀	4月26日(土) 10時00分	どんどんの森
北部	有田	4月25日(金) 18時00分	有田町生涯学習センター
	唐津・東松浦・伊万里	4月26日(土) 10時30分	唐津市文化体育館
南部	武雄・杵島・多久・小城・鹿島・藤津	4月26日(土) 10時00分	鹿島市民文化ホール

<キャラクター紹介> ユニオニオン



ユニオニオンの由来

「ユニオン(労働組合)」と「オニオン(たまねぎ)」から生まれた名前。たまねぎが幾重にも層を重ねて育つように、一人ひとりの想いが寄り添い合い、支え合える存在でありたい。それが、ユニオニオンの願いです。

2025年2月1日
ユニオニオンストアが
開店しました。



編集後記

2025春季生活闘争の回答が大手組合を中心に始めている。昨年を上回る要求を掲げ実質賃金の低下に歯止めをかけるべく交渉が行われ、会社側も社会的責任のもと、多くの大手組合で満額回答や昨年を上回る回答となっている。今からが連合佐賀に加盟する中堅中小地場労組の交渉が本格化していく。価格転嫁が思うようにいかない、人財確保に苦慮するなど様々な問題が中小地場企業にはあるが、労働組合があることで賃上げ交渉できることも事実である。連合佐賀加盟労組はすべての組合で要求書を提出し組合員の生活向上に向けた交渉を展開していただきたい。

今年の春季生活闘争メインスローガン「みんなでつくりよう!賃上げがあたりまえの社会」の実現に向けともに頑張りましょう!(K・Y)